

経営者への活きた言葉

一隅を照らす、これ国宝なり 伊與田 覺(論語普及会学監)

1. 伝教大師(最澄)が時の嵯峨天皇に上奉した「山家学生式」^{サンカガクシヨウシキ}には、次のように記されています。
「古人^{イロ}言^{ケイ}く、径寸十枚、これ国宝に非^{アラ}ず。一隅を照す、これ則^{スナフ}ち国宝なり、と」。
直径一寸もあるような珠十枚が国宝なのではなく、世の一隅に光を与える照らす者が国宝である。こうした精神で育てられ、品格を備えた僧侶たちが地方に下り、それぞれに周囲を照らしていくことによった天台宗は全国に広まっていったのです。
2. 「一隅を照らす」というと、ちっぽけなことと思われる方もあるかもしれませんが。しかし、自ら光り、周囲を照らすことには、はなはだ深い意味があります。地球は非常に大きいけれども自ら光っているのではなく、太陽の光を受けて光っています。太陽がその光を没すれば地球もまた光を失うのです。同様に、会社でどんな立派な役職を持っていても、それは会社という光に照らされて自ら光っていることを自覚しなければなりません。
3. 役職を失ったり、職場を離れたりした時、一個の人間に大した光もないことを痛感する人もいるでしょう。同時に、どれだけ周囲に影響を与えていたかは、その人が去ってから明らかになるというものです。小なりといえども自ら光り、周囲に少しでもよい影響を及ぼしてゆけるよう、一隅を照らす人間を目指してゆきたいものです。

(参考:「致知」2012年2月号)

経営者のための経済学

中国が米国を上回ることはない ジョセフ・S・ナイ(ハーバード大学教授)

1. 米国は今、苦難に直面している。こうした状況下、特に中国との比較で、米国の凋落を予想する向きが多い。しかし、経済成長によって中国は国力をもたらず資源の面で米国に近づくが、必ずしも中国が最強国争いで米国を追い越すわけではない。
中国のGDPが、10年以内に米国を抜くのはほぼ確実だ。そうなっても1人当たり国民所得で中国は米国に何十年も追いつけないだろう。
2. かつて、シンガポールのリー・クアンユー元首相が語ったように、中国は13億人の人材を頼りにすることができ一方、米国はその多様な文化の中で世界の70億人を引き合わせて、中国の大漢民族主義では不可能なやり方で創造性を高めることができるのだ。
中国は「米国を相手に善戦するだろう」が、今世紀の前半に総力で米国を上回ることはない、という見方がおそらく正しい。

(参考:「週刊東洋経済」:2011年11月5日号)